

アサヒグループホールディングス株式会社
江崎グリコ株式会社
千代田運輸株式会社
TRANCOM株式会社
株式会社ユーネットランス
NEXT Logistics Japan 株式会社

アサヒ、江崎グリコ、千代田運輸、TRANCOM、ユーネットランス、 NEXT Logistics Japan、 新たな幹線輸送スキームを事業化し運用開始

物流の課題解決に向けた第一歩として、多業種連携でノウハウ結集
各社から NEXT Logistics Japan へ出資

日野自動車株式会社(本社:東京都日野市、社長:下義生、以下日野)の子会社である NEXT Logistics Japan 株式会社(本社:東京都新宿区、社長:梅村幸生、以下 NLJ)とアサヒグループホールディングス株式会社(本社:東京都墨田区、社長:小路明善、以下アサヒ GHD)、江崎グリコ株式会社(本社:大阪府大阪市、社長:江崎勝久、以下江崎グリコ)、千代田運輸株式会社(本社:東京都日野市、社長:水野功、以下千代田運輸)、TRANCOM株式会社(本社:愛知県名古屋市、社長:恒川穰、以下TRANCOM)、株式会社ユーネットランス(本社:愛知県豊田市、社長:今井眞一郎、以下ユーネットランス)は、荷主企業・運送事業者・求貨求車サービス企業・車両メーカーといった物流に関わる各企業の知見や技術を結集し、深刻化する物流の課題解決に向けて新たな幹線輸送スキームを事業化します。各社は NLJ へ総額約 1 億円を出資し、12 月 9 日より本スキームを運用開始します。

NLJ は 2018 年 6 月の設立以降、物流にまつわる社会課題の解決を目指し、実証実験を進めてきました。高齢化や個別配送ニーズの高まり等の環境変化により、運送事業におけるドライバー不足、積載率の低下は著しく、幹線輸送で顕著な傾向として表れています。このたび、物流への危機意識を同じくする企業とともに、現在物流において特に大きなボトルネックとなっている東名阪間の幹線輸送の効率化・省人化を目指し、新たな輸送スキームの運用を開始します。

東西 2 か所にクロスドックを設け、荷主各社の荷物を集約。荷物と車両の情報から算出した最適パターンで混載するとともに、空きスペースへの積荷マッチングを行い、積載効率の最大化を図ります。大きさ・重量・輸送頻度といった特性の異なる荷物を混載することにより、車両の積載可能重量・容積を最大限に活用できるとともに、需要時期の違いによる年間を通じた積載率の平準化も可能になります。

車両は、積載効率を高めた専用開発の全長 25m 級ダブル連結トラックを用いることで、ドライバー1人で大型トラック2台分の荷物を輸送し、物流の省人化に取り組めます。

また、安心・安全で持続可能な輸送を実現するため、ドライバー・車両・荷物の三位一体の情報活用に向けて、日野の ICT サービス「HINO CONNECT」で得られるデータの活用に加え、各種センサーによる荷室内の見える化や、ドライバーの体調管理に寄与する睡眠改善プログラムも取り入れます。さらに、ドライバーの働き方改革に向けても、輸送・荷役作業の分離や長時間労働の抑制などに取り組んでまいります。

今後、実運用を通じてノウハウを蓄積するとともに、参画企業の輪を拡げ、幹線輸送スキームを進化させていきます。将来的には、あらゆる荷主企業・運送事業者にご利用いただける物流の仕組みを確立し、社会に貢献してまいります。

【今回の協業に関する各社のコメント】

アサヒ GHD 理事 物流部門ゼネラルマネジャー 島崎 市朗

「ドライバー不足の進行、長時間労働の解消など今後、ますます厳しくなる物流環境に対して、NLJの構想での高積載・高効率な物流の実現は、私たちの実現したい目標を共有するものであり、現在直面する社会的課題の解消につながると考えています。これは、業種を超えた連携なくしては実現できません。各社の技術・知恵と工夫の結晶となる新たな輸送モデルにより、広く社会に貢献していきたいと思えます」

江崎グリコ SCM 本部ロジスティクス部 部長 渡邊 武

「物流クライシスと叫ばれる中、荷主企業として、また物流に携わるものとして危機感を抱き、物流環境改善に取り組んでまいりましたが、環境はますます厳しく、さらに踏み込んだ取り組みが必要であると感じていました。そのような中、NLJ社から、車両・荷物・ドライバーが三位一体となった、これまでにない幹線輸送の構想をいただき、物流に携わるものが垣根を超えて、手を取り合うことで問題解決の糸口になれると思い参画することを決めました。生み出すための苦労は大きいかもしれませんが、未来へ繋がる仕事を共に成し遂げたいと思えます」

千代田運輸 代表取締役社長 水野 功

「弊社は運送事業を生業として日野自動車と共に60余年が経過いたしました。100年に一度の大変革期と言われる昨今の変化に対応するためには、新しい技術の確立や新しい輸送の仕組みが必要不可欠であると痛感しております。特にドライバー不足や働き方改革など、一事業者だけでは成し得ない社会全体の問題解決に繋がるよう、また弊社のノウハウがNLJ社に貢献できるよう、取り組んでまいります」

トランコム 取締役常務執行役員 上林 亮

「弊社は物流専門家として、これまで長年にわたりさまざまなお客様の物流領域の問題解決に取り組んでまいりました。とりわけ求貨求車サービス事業においては、『貨物』と『空車』のマッチングを通じ、安定的か

つ持続的な中長距離の輸送サービスを提供しております。ドライバー不足・コンプライアンス対応など『輸送』を取り巻く環境がますます厳しくなる中で、今回、高効率大量輸送の実現を目指す NLJ 社と共に、新たな幹線輸送の仕組みを構築してまいります」

ユーネットランス 代表取締役会長兼社長 今井 眞一郎

「私たちが長年培ってまいりました、運行管理・配車管理・トレーラー輸送のノウハウを進化させるとともに、異業種連携のシナジー効果を発揮しつつ、先進技術と私たちのノウハウを融合させ、将来の新たな幹線輸送の革新的なシステム構築に貢献すべく専心してまいります」

NLJ 代表取締役社長 梅村 幸生

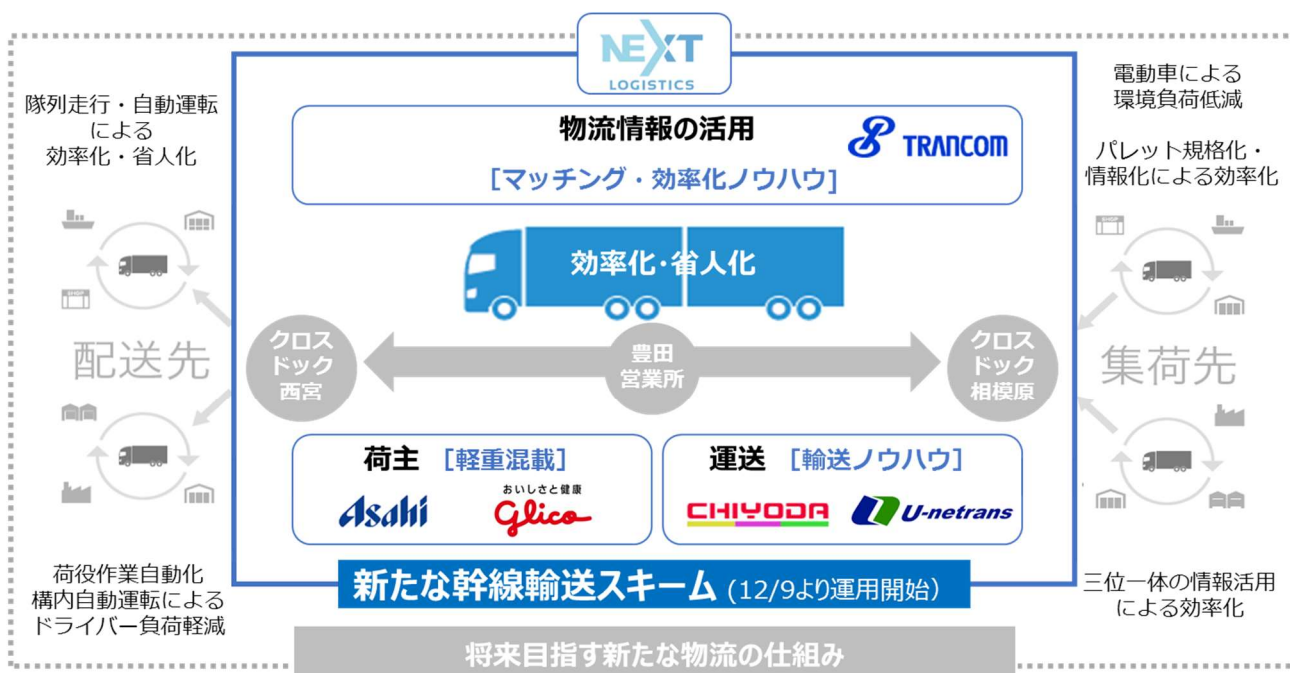
「物流を取り巻く問題が深刻化する中、社会のお役に立つことができないかという一心でこの取り組みを進めております。このたび、NLJ の構想にご賛同いただいたパートナーの皆さまとともに、物流の課題解決に向けた第一歩を踏み出せることは大変ありがたく、また意義深いものであると感じております。各社の技術や知見を結集し、物流にまつわる課題に寄り添い、できることから着実に一步一步進んでいくことが物流の明るい未来につながると信じて、邁進してまいります」

【NLJ が目指す物流】

ノウハウを持ち寄り、高効率な幹線輸送スキームを確立

【物流効率の最大化】 より効率的に多くの荷物を運ぶ・1台でより多くの荷物を運ぶ

【安心・安全・持続可能な物流】 安全・輸送品質の向上・環境負荷低減・働き方改革・コスト最適化・利便性



【NLJ 会社概要】

社名	NEXT Logistics Japan 株式会社
所在地	東京都新宿区西新宿一丁目 26 番 2 号 新宿野村ビル
資本金	6 億 4,300 万円 ※各社の出資完了時点
設立	2018 年 6 月 1 日
代表者	梅村 幸生(日野)

以上